

演習問題

平成12年2月16日 平田
12年2月28日修正

クエリーの使い方の練習のため例題を作成しました。
サンプルプログラムを使用して回答してください。

Q1 平成11年1月1日から平成11年12月31日の間に接触者検診を呼びかけた対象者について以下の設問に回答しながら別表1を完成させてください。

1-1 1回目の受診を期間内に呼びかけた人数は何人ですか？

1-2 1-1のうち、1回目の検診を受診した人数は何人ですか？
未受診者の人数は何人ですか？

*未受診者の判断について：①予定日より1か月を過ぎても受診のない場合とします。

②ただし、「対応」が追跡中止となっている場合は1ヶ月未満でも追跡中止とし、その他の1ヶ月以内は保留とします。

1-3 1-2の受診者のうち、異常のなかったのは何人ですか？
何らかの異常があった人はそれぞれ何人ですか？

1-4 2回目の受診を期間内に呼びかけた人数は何人ですか？
注：1回目が期間内である必要はありません。

1-5 1-4のうち、受診した人数は何人ですか？
受診しなかったのは何人ですか？

1-6 1-5のうち、異常のなかったのは何人ですか？
何らかの異常があった人はそれぞれ何人ですか？

1-7 同様のことを3回目、4回目についても実施してください。

Q2 平成11年1月1日から平成11年12月31日の間に接触者検診を呼びかけた対象者について以下の設問に回答しながら別表2を完成させてください。

2-1 1回目の受診を期間内に呼びかけた人数は何人ですか？
市町村別に回答しなさい。

2-2 1-1のうち、1回目の検診の受診者は何人ですか？未受診者は何人ですか？
市町村別に答えなさい。

2-3 同様に2回目、3回目、4回目についても答えなさい。

Q3 平成11年1月1日から平成11年12月31日の間に第1回目の接触者検診を呼びかけた対象者について 以下の設問に回答しながら別表3を完成させてください。

*3-1から3-3まではQ1と同様です。

3-1 1回目の受診を期間内に呼びかけた人数は何人ですか？

3-2 3-1のうち、1回目の検診を受診した人数は何人ですか？

未受診者の人数は何人ですか？

*未受診者の判断について：①予定日より1が月を過ぎても受診のない場合とします。

②ただし、「対応」が追跡中止となっている場合は1ヶ月未満でも追跡中止とし、その他の1ヶ月以内は保留とします。

3-3 3-2の受診者のうち、異常のなかったのは何人ですか？

何らかの異常があった人はそれぞれ何人ですか？

3-4 期間内の1回目の呼びかけ対象者で現在までに2回目の受診を呼びかけた人数は何人ですか？ またその結果はどうでしたか？

3-5 同様のことを3回目、4回目についても実施してください。

Q4 平成11年1月1日から平成11年12月31日の間に第1回目の接触者検診を呼びかけた対象者について 以下の設問に回答してください。

4-1 現在までに医療機関に紹介されたのは何人ですか？

4-2 異常なしで追跡を終了したのは何人ですか？

4-3 追跡中の人は何人ですか？

4-4 追跡がうまくいってない、あるいはその可能性の高い人は何人ですか？

Q5 平成11年1月1日から平成11年12月31日の間に第1回目の接触者検診を呼びかけた対象者について。その基となる患者数は何人ですか。市町村別にあげなさい。

別表1

項 目		1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	合計
呼びかけ人数						
受診者数						
未受診者数						
保 留						
受 診 者	異常なし					
	要精密					
	要医療					
	受診中					

別表2

項 目	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	合計
春日市 呼びかけ人数					
受診者					
未受診者					
保 留					
太宰府市 呼びかけ人数					
受診者					
未受診者					
保 留					
筑紫野市 呼びかけ人数					
受診者					
未受診者					
保 留					
大野城市 呼びかけ人数					
受診した者					
未受診者					
保 留					
那珂川町 呼びかけ人数					
受診者					
未受診者					
保 留					

別表3

項 目		1 回 目	2 回 目	3 回 目	4 回 目	合 計
呼びかけ人数						
受診人数						
未受診人数						
保 留						
受 診 者	異常なし					
	要精密					
	要医療					
	受診中					

演習問題の解答方法

Q 1

Q1-1 99/1/1 ~ 99/12/31 に1回目呼びかけた対象者人数？

クエリー画面 → 新規作成 → 選択クエリーウィザード →

テーブル：接触者検診

選択フィールド：

1回検診予定日、ID

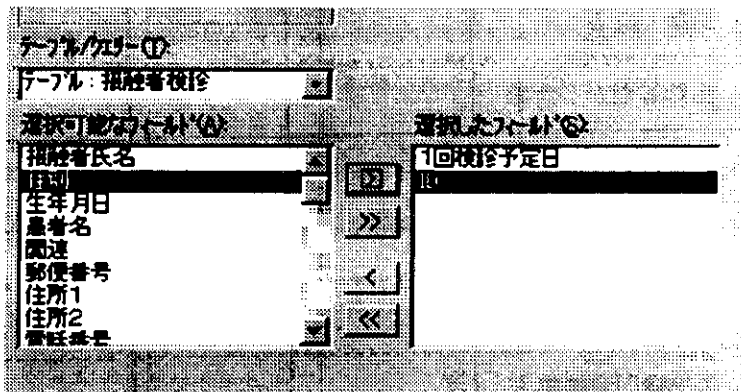
→ 次へ

→ 名前を付けて

(例 Q1)

→ 完了で

Q1ができる。



<抽出条件の設定による方法>

Q1をデザインビューで開き、「1回検診予定日」の抽出条件に

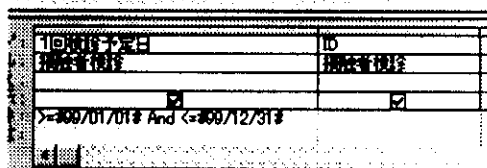
>=#99/01/01# And <=#99/12/31# と書き込みます。(全て半角)

簡略化し、

>=99/1/1<=99/12/31 でもかまいません。



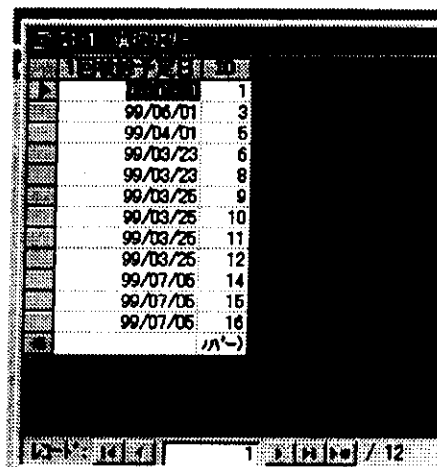
を押すと結果の一覧表が表示されますが、



その際、画面下のレコードの /12 の12が該当する件数となります。

保存する場合は、

ファイル → 名前を付けて保存 で名前を付けます。(例 Q1-1A)



<集計クエリーの作成による方法>

Q1 をデザインビューで開きます。

表示 → 集計 をクリック

集計行が表れます。

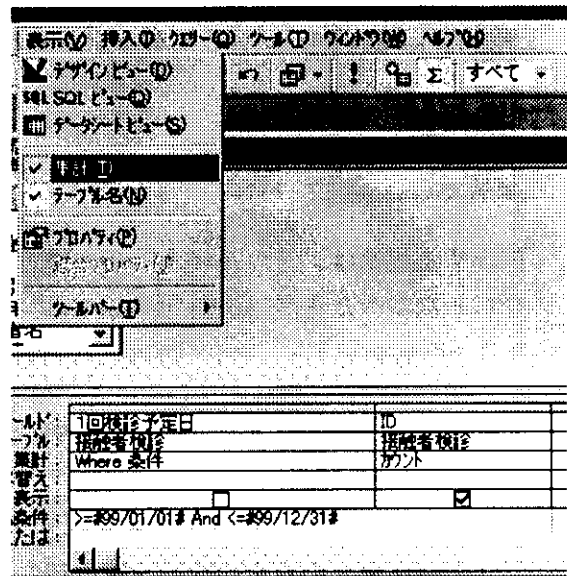
1 回検診予定日の集計行を Where 条件式
とし、条件に

>=#99/01/01# And <=#99/12/31#

と書き込みます。

簡略化し、 >=99/1/1<=99/12/31 でもかま
いません。

(<抽出条件の設定による方法>より引き
続き行っている場合はすでに書き込まれ
ています。)



ID の集計行は カウントにします。(これで ID の数をカウントします。件数を数える対
象に ID を選んだ理由は、ID が全てのレコードに間違いなく記入されているからです。)



にすると集計されます。

結果 →



保存する場合は、 ファイル → 名前を付けて保存 でクエリーに名前を付けます。
(例 Q1-1B)

Q1-2 99/1/1 ~ 99/12/31 に1回目呼びかけた対象者のうち受診した人数は何人ですか？
しなかったのは何人ですか？

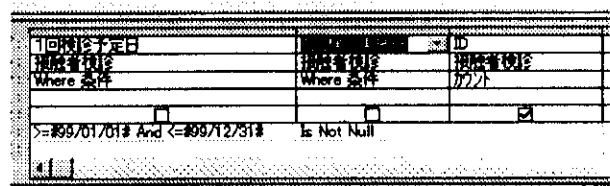
未受診について、予定日より1ヶ月過ぎても受診のない者と定義しております。また、
1ヶ月が過ぎてなくても、「対応」で「追跡中止」となった者も未受診と考えます。

ここでは、すでに、99/12/31 より1ヶ月以上たっておりますので、後者のことを考える
必要がありません。 受診のなかったものは、全て未受診として整理します。

まず受診した人数ですが、Q1-1 の<抽出条件の設定による方法>のクエリーに 「1
回検診実施日」を加え条件式として、 Is Not Null と入力します。

簡単に Not Null でもかまいません。

Null とは「存在しない」という意味です。
Not Null とはその逆で「存在する」すな
わち「1 回検診実施日」に入力がされて
いるということを意味します。



1回結果	ID
1回対応	カク
2回検診予定日	
2回検診項目	
2回検診実施日	
2回結果	
2回対応	

ちなみに、クエリーの作る場合は、フィールド欄右上をクリックしリストボックスを開き、欲しい項目をクリックすると簡単です。



にすると集計されます。結果 →

1回結果	IDのカウント
異常なし	6
要医療	2
要精密	1

保存する場合は、ファイル → 名前を付けて保存 でクエリーに名前を付けます。受診しなかった人数は、上記 Not Null を Null に書き改めることで求められます。

結果 →

01-1 検診クエリー
IDのカウント
3

名前を付けて保存します。(例 Q1-2)

Q1-3 Q1-2で作成したクエリーを下のように改めます。

「1回結果」の列を作成し、集計行をグループ化とします。

フィールド	1回検診予定日	1回検診実施日	1回結果	ID
テーブル	接触者検診	接触者検診	接触者検診	接触者検診
集計	Where 条件	Where 条件	グループ化	カク
並び替え				
表示			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
抽出条件	>=#99/01/01# And <=#99/12/31#		Is Not Null	
または				



にすると集計されます。

結果 →

1回結果	IDのカウント
異常なし	6
要医療	2
要精密	1

名前を付けて保存します。(例 Q1-3)

*ここでは検診実施日は省略しても同じ結果になります。

ちなみに「1回検診実施日」の列を削除（「1回目検診実施日」の上にマウスのカーソルを合わせると「↓」が出てきます。ここでマウスを右クリックし、リストより切り取りを選択、左クリックしてください。削除されます。）すると集計結果は、下図のようになります。空白行は、入力のないレコードの数 すなわち未受診の数です。

1回結果	IDのカウント
	3
異常なし	6
要医療	2
要精密	1

Q1-4 ~ 「1回検診予定日」→「2、3、4回検診予定日」

「1回検診実施日」→「2、3、4回検診実施日」

「1回結果」 →「2、3、4回結果」

に置き換え、Q1-1 から Q1-3 を繰り返してください。

Q2 Q1との違いは、市町村単位になった点です。

Q2-1 Q1-1B(集計クエリー)に市町村列を加えます。

住所1が市町村の入力項目ですので下記のように住所1を「グループ化」としたクエリーを作ります。

フィールド	1回検診予定日	住所1	ID
テーブル	接種者検診	接種者検診	接種者検診
集計	Where 条件	グループ化	カウント
並べ替え		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
表示			
抽出条件	>=#99/01/01# And <=#99/12/31#		
または			

結果 →

名前を付けます。(例 Q2-1)

住所1	IDのカウント
春日園	5
太宰府市	2
筑紫野市	1
那珂川町	4

Q2-2 Q1-2に住所1の列を加えます。

フィールド	1回検診予定日	1回検診実施日	住所1	ID
テーブル	接種者検診	接種者検診	接種者検診	接種者検診
集計	Where 条件	Where 条件	グループ化	カウント
並べ替え			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
表示				
抽出条件	>=#99/01/01# And <=#99/12/31#		Is Not Null	
または				

結果 →

住所1	IDのカウント
春日園	5
太宰府市	1
筑紫野市	1
那珂川町	2

* Is Not Null が受診者、Is Null が未受診者 です。

名前を付けます。(例 Q2-2)

Q2-3 「1回検診予定日」→「2、3、4回検診予定日」

「1回検診実施日」→「2、3、4回検診実施日」

に置き換え、Q2-1からQ2-2を繰り返してください。

Q3 Q1との違いは1回目の限定期間に呼びかけた者について2回～4回の呼びかけ等を求めたもので、2回～4回については期間が限定されておりません。

Q3-1～Q3-3は Q1のQ1-1～Q1-3と同様です。

Q3-4 2回目の人について求めます。

(1)呼びかけた人数は下記クエリーで求めます。

フィールド	1回検診予定日	2回検診予定日	ID
テーブル	接触者検診	接触者検診	接触者検診
集計	Where 条件	Where 条件	個別
並び替え			
表示	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
抽出条件 または	>=#99/01/01# And <=#99/12/31#		Is Not Null

結果 →  名前を付けます。(例 Q3-4A)

(2)次に、受診者、未受診者です。

受診者数を下記のクエリーで求めます。

受診者 →

フィールド	1回検診予定日	2回検診予定日	2回検診実施日	IDのカウント II
テーブル	接触者検診	接触者検診	接触者検診	接触者検診
集計	Where 条件	Where 条件	Where 条件	カウント
並び替え				
表示	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
抽出条件 または	>=#99/01/01# And <=#99/12/31#		<#00/02/16#	Is Not Null

結果 →  名前を付けます。(例 Q3-4B)

未受診者を求めます。未受診者の条件は、

- ① 予定日から1ヶ月以上たっていて実施日が無記入の者。
- ② 予定日は記入、実施日は無記入で、「対応」を「追跡中止」とした者を未受診者とします。

フィールド	IDのカウント II	1回検診予定日	2回検診予定	2回検診実施	2回対応
テーブル	接触者検診	接触者検診	接触者検診	接触者検診	接触者検診
集計	カウント	Where 条件	Where 条件	Where 条件	Where 条件
並び替え					
表示	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
抽出条件 または		>=#99/01/01# And <=#99/12/31#	<#00/01/16#	Is Null	Is Null
		>=#99/01/01# And <=#99/12/31#	<#00/02/16#	Is Null	"追跡中止"

クエリーの抽出条件の上段が①、下段が② を求める条件式である。

結果 → 

名前を付けます。(例 Q3-4C)

(3)受診者の結果は、(2)の受診者クエリーに「2回結果」を追加し求めます。

フィールド テーブル 集計 並べ替え 表示 抽出条件 または	1回検診予定日 検診者検診 Where 条件	2回検診予定日 検診者検診 Where 条件	2回検診実施日 検診者検診 Where 条件	2回結果 検診者検診 グループ化	IDのカウント ID 検診者検診 カウント
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
抽出条件 または	>=#99/01/01# And <=#99/12/31#		<=#00/02/16#	Is Not Null	

「2回結果」列を追加し、グループ化します。

結果 →

2回結果	IDのカウント
異常なし	2
要精密	1

名前を付けます。(例 Q3-4D)

*ここでは検診実施日は省略しても同じ結果になります。

Q3-5 「2回検診予定日」 → 「3、4回検診予定日」

「2回検診実施日」 → 「3、4回検診実施日」

「2回結果」 → 「3、4回結果」

「2回対応」 → 「3、4回対応」

と改めることで、3回、4回の結果を得ることができます。

Q4

Q4-1 医療機関への紹介は、「1回対応」、「2回対応」、「3回対応」、「4回対応」の4つのフィールドに記載されている。いずれのフィールドの記載されていても、拾い上げるためには下記のようなクエリーを作成します。

フィールド テーブル 集計 並べ替え 表示 抽出条件 または	1回検診予定日 検診者検診 Where 条件	1回対応 検診者検診 Where 条件	2回対応 検診者検診 Where 条件	3回対応 検診者検診 Where 条件	4回対応 検診者検診 Where 条件	ID 検診者検診 カウント
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
抽出条件 または	>=#99/01/01# And <=#99/12/31#		"医療機関紹介"	"医療機関紹介"	"医療機関紹介"	"医療機関紹介"
	>=#99/01/01# And <=#99/12/31#			"医療機関紹介"		
	>=#99/01/01# And <=#99/12/31#				"医療機関紹介"	
	>=#99/01/01# And <=#99/12/31#					"医療機関紹介"

抽出条件で行を変えると OR の関係になる。


結果 →

IDのカウント
医療機関紹介

名前を付けます。(例 Q4-1)

Q4-2 「異常なし」は「1、2、3、4回結果」の中に、「追跡終了」は「1、2、3、4回対応」の中に記載される。クエリーは下記のごとくなる。

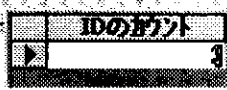
フィールド テーブル 集計 並べ替え 表示 抽出条件 または	1回検診予定日 検診者検診 Where 条件	1回結果 検診者検診 Where 条件	1回対応 検診者検診 Where 条件	2回結果 検診者検診 Where 条件	2回対応 検診者検診 Where 条件	3回結果 検診者検診 Where 条件	3回対応 検診者検診 Where 条件	4回結果 検診者検診 Where 条件	4回対応 検診者検診 Where 条件	ID 検診者検診 カウント
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
抽出条件 または	>=#99/01/01# And <=#99/12/31#		"異常なし"	"追跡終了"	"異常なし"	"追跡終了"	"異常なし"	"追跡終了"	"異常なし"	"追跡終了"
	>=#99/01/01# And <=#99/12/31#			"異常なし"	"追跡終了"		"異常なし"	"追跡終了"		
	>=#99/01/01# And <=#99/12/31#				"異常なし"	"追跡終了"		"異常なし"	"追跡終了"	
	>=#99/01/01# And <=#99/12/31#					"異常なし"	"追跡終了"		"異常なし"	"追跡終了"

結果 → 

名前例 Q4-2

Q4-3 追跡中の人数は、最終受診時の「対応」が「再検診」でその後の対応に何も記載されていない者（その後の受診がなく追跡中止となった者等は含まれない。）ということになるので下記のクエリーで求められる。

1回検診予定日	1回対応	2回対応	3回対応	4回対応	ID
Where 条件	Where 条件	Where 条件	Where 条件	Where 条件	Where 条件
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
抽出条件 または					
>=#99/01/01# And <=#99/12/31#		"再検診"	Is Null		
>=#99/01/01# And <=#99/12/31#		"再検診"	Is Null	"再検診"	
>=#99/01/01# And <=#99/12/31#		"再検診"	Is Null	"再検診"	
>=#99/01/01# And <=#99/12/31#		"再検診"	Is Null	"再検診"	

結果 → 

名前例 Q4-3


*整理上「未受診」（1ヶ月以上受診なし）となっても追跡中止となっていないものは追跡中です。

Q4-4 「追跡がうまくいっていないかその可能性が高い者」は次の条件が考えられる。

- ①検診予定日が1月15日以前で「検診実施日」、「対応」の記載がない。
(1、2、3、4回とも)
- ②検診予定日が入力されており、検診実施日が入力されておらず「対応」で追跡中止となった者。

1回検診予定日	1回検診実施日	1回対応	2回検診予定日	2回検診実施日	2回対応
Where 条件	Where 条件	Where 条件	Where 条件	Where 条件	Where 条件
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
抽出条件 または					
>=#99/01/01# And <=#99/12/31#		Is Null	Is Null	<#00/01/16#	Is Null
>=#99/01/01# And <=#99/12/31#		Is Null	Is Null	<#00/01/16#	Is Null
>=#99/01/01# And <=#99/12/31#		Is Null	"追跡中止"	Is Null	"追跡中止"
>=#99/01/01# And <=#99/12/31#		Is Null	"追跡中止"	Is Null	"追跡中止"
>=#99/01/01# And <=#99/12/31#		Is Null	"追跡中止"	Is Null	"追跡中止"
>=#99/01/01# And <=#99/12/31#		Is Null	"追跡中止"	Is Null	"追跡中止"

抽出条件のうち 上4行 は ①、下4行 は ② の条件である。

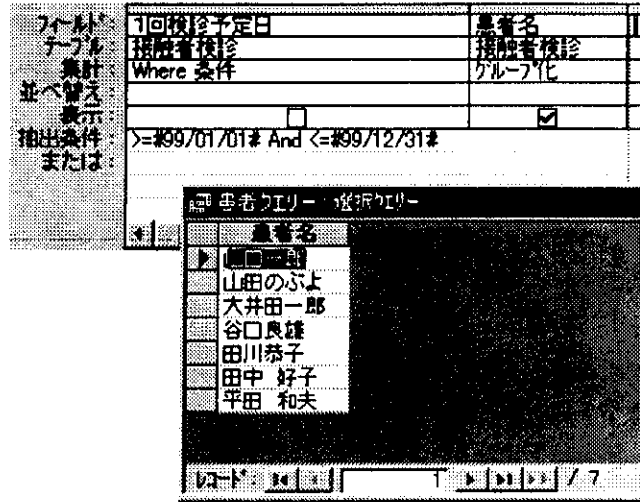
結果 → 

名前例 Q4-4

Q 5 設問が悪いので分かり難いかと思いますが、要するに接触者検診を必要とした患者数を求めようとするものです。

集計クエリーで患者名をグループ化し、レコード数で求める方法が簡単な方法です。

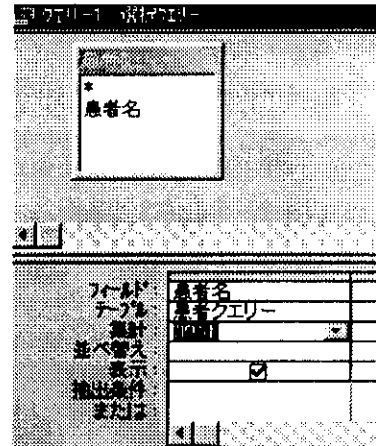
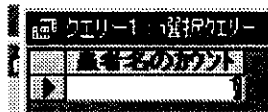
答えは7人となります。



名前例 Q5A

これでは飽き足らないという人は、クエリーのクエリーを作ってください。上記クエリーを基礎にした集計クエリーを左図のように作ります。

結果 →



名前例 Q5B

以上 回答方法を記しました。他にもいろんな方法があります。試してみてください。

平成11年度
保健情報処理研修会

統計の基礎知識と アンケートの取り方

平成11年12月22日
平成12年3月8日
保健環境研究所 篠原
平成12年1月19日
平成12年2月16日
筑紫保健所 森松、笠

平成11年12月22日(水)

アンケートの取り方 1

- アンケート調査とは

平成12年 1月 19日(水)

アンケートの取り方 2

- パソコンによる入力効率化

平成12年 2月 16日(水)

アンケートの取り方 3

- パソコンによる集計方法

平成12年 3月 8日(水)

統計の基礎知識

目次

● アンケートの調査とは	188 ページ
● アンケートの調査のプロセス	189
● 調査企画書の構成	190
● 調査の必要性の確認	191
● 調査の実施方法	192
● 調査の実施方法の長所と短所	193
● 調査日程の概略図	194
● アンケート調査の費用項目	195
● 標本抽出の手順	196
● 無作為抽出法の種類と特徴	197
● アンケート調査で発生する非標本誤差の原因	198
● アンケート作成上の一般的注意事項	199
● 調査データの測定尺度	200
● 利用者に応じた調査報告書の書き方のポイント	201
● アンケート作成宿題と参考意見	202
● 参考文献	211
● 資料1	212
● 資料2	213

● アンケートの調査とは

定義

1. 社会のさまざまな分野で生じている問題を解決するために、
 2. 問題に関係している人あるいは組織に対して、
 3. 同じ質問を行い、質問に対する回答としてデータを収集し、
 4. そのデータを解析することによって、
 5. 問題解決に役立つ情報を引き出していく
- という一連のプロセスである

アンケート調査のプロセス

- ① 調査の企画
- ↓
- ② 調査の準備
- ↓
- ③ 調査の実施
- ↓
- ④ 調査データの分析
- ↓
- ⑤ 報告書の作成

● アンケート調査のプロセス

① 調査の企画	<計画段階の誤差>
1) 調査の目的 2) 調査対象 3) 調査方法 調査数の決定 4) 仮説と質問の概要 5) 解析計画 6) 日程、費用、調査員数等	① 概念規定の誤り ② 調査法の選択の誤り ③ 標本誤差 ④ 調査体制の連絡の不徹底
② 調査の準備	
1) 被調査者（団体）の選定 2) 調査票の作成 3) 調査員に渡す手引き、書類等	⑤ リストの不備 ⑥ 調査票の不備 ⑦ 説明書の欠落
③ 調査の実施	<実施段階の誤差>
1) 調査員に対するインストラクション 2) 調査員による現場作業（実査） 3) 調査票の回収 4) 調査票の記入もれ検査	① 調査員による偏り ② 調査員の犯す誤り ③ 被調査者の回答の誤り ④ 被調査者の無回答誤差
④ 調査データの分析	<整理段階の誤差>
1) コーディング作業 2) 単純集計 3) クロス集計 4) データ解析	① コーディングの際の誤差 ② 集計作業の際の誤差 ③ 推定や検定の作業における誤り
⑤ 報告書の作成	
1) 分析の核心部分を抽出 2) 利用しやすい形に整理 3) 重点項目の質問に対する誤差評価	④ 結論の解釈の誤り

アンケート調査の種類

- 調査地域 / 全国調査、都市調査、農村調査、特定地域調査
- 調査対象1 / 個人調査、世帯調査、学校調査、企業調査
- 調査対象2 / 住民調査、消費者調査、学生調査、主婦調査
- 調査抽出法 / 全数調査、標本調査
- 調査方法 / 配票調査、面接調査、郵送調査、集合調査、電話調査
- 調査利用 / 世論調査、学術調査、市場調査
- 調査目的 / 実態調査、意識調査、構造調査
- 調査種類 / 福祉調査、労働調査、教育調査

調査企画書の構成

調査企画書の項目	記載する内容
1 調査の背景	● どのような問題が発生しているか。
2 調査の必要性	● なぜ調査しなければならないのか。調査を企画するに至った事情を示す。
3 調査目的	● 調査によって何を明らかにしたいのか。調査結果をどのように活用するのか。
4 調査対象	● どのような人々や組織を対象として調査するのか。
5 調査方法	● 全数調査か標本調査か。標本調査の場合には、標本抽出法と標本数も記載する。
6 質問項目の概要	● 具体的に何を調べるのか。仮説も合わせて記載しておくことよい。
7 調査の実施方法	● どのような方法で回答者から調査票の質問に対する回答を得るか。
8 調査データの解析の計画	● 調査データの解析の段階では、どの質問項目にどのような手法を適用するのか。多変量解析などの解析も行うのか。
9 調査日程の概要	● いつ本調査を行い、いつまでに調査報告書を提出するのか。
10 調査費用の概要	● 調査経費はどのくらいと見積もられるのか。経費算定の根拠を示す。
11 調査スタッフ	● 誰が調査を担当するのか。外部機関に委託する場合はどこに委託するのか。

アンケート調査の方法, 辻・有馬著, 朝倉書店, 1987, 69p

調査の必要性の確認

チェックポイント	チェック内容
1. 問題意識の再確認	● なぜアンケート調査を実施しようと考えようになったのか
2. 調査目的の明確化	● どのような問題に対して、どのような情報を得るために調査を行うのか？調査目的をはっきりさせる。
3. 調査項目の検討	● 調査目的を達成するためには、具体的に何を調べればよいのだろうか？仮説を立てて調査項目を列挙していく。
4. 調査可能性の確認	● 調査目的としてもうけたテーマは大きすぎはしないか？また、調査項目を調べることによって調査目的を達成できるのだろうか？
5. 既存調査資料の活用	● 調査目的に関連する既存資料を収集し、利用可能な情報を明らかにする。全く同じ調査目的の調査が既に行われていないか？
6. 調査期限の明確化	● 調査結果（調査報告書）はいつまで出さなければならぬか？
7. 調査費用の制約の明確化	● 調査に費やすことのできる予算はいくらぐらいか。調査から引き出される情報は、調査予算に見合うだけの価値をもつか

アンケート調査の方法, 辻・有馬著, 朝倉書店, 1987, 45p

調査の実施方法

調査の実施方法	調査票の配付方法	回答(記入者)	調査票の回収方法	特徴
① 配票調査法	調査員の訪問	回答者(自記式)	調査員の訪問	調査員が回答者を訪問して調査票を配付し、一定の期間内に回答者に回答を記入してもらい、調査員が再度訪問して調査票を回収する。留置調査法、配付回収調査法、配票留置調査法と呼ばれることもある。
② 配付郵送調査法	調査員の訪問	回答者(自記式)	郵送	調査票の配付は調査員が回答者を訪問して行い、指定した期日までに回答者自身に調査票に回答を記入してもらった後、調査票配付時に渡した封筒でその調査票を返送してもらう。
③ 郵送調査法	郵送	回答者(自記式)	郵送	回答者に調査票と返送用の封筒を郵送し、回答者に回答を記入してもらった上で、一定の期日までに調査票を返送してもらう。
④ 託送調査法	郵便以外の組織の利用	回答者(自記式)	郵便以外の組織の利用	調査票の配付と回収に既存の組織を利用する。たとえば、小学校や中学校に通う子供がいる世帯を対象に調査を行う場合には児童や生徒を利用して調査票の配付と回収をおこなう。ただし、調査票に回答を記入するのは回答者自身である。
⑤ 集合調査法	調査会場への回答者の集合	回答者(自記式)	調査会場への回答者の集合	一定の場所に集合した回答者に対して、調査票を配付するとともに調査員が質問の内容や回答方法を順次指示し、回答者に一斉に回答を記入してもらおう。回答者に依頼して一定の場所に集まってもらう場合と教室や職場のように一定の場所に既に集まっている場合とがある。
⑥ 面接調査法	調査員の訪問	調査員(他記式)	調査員の訪問	調査員が回答者を直接訪問して面接し、調査票にしたがって質問を口頭で行い、回答者の口頭の回答を調査員が調査票に記入してその調査票を持ち帰る。
⑦ 電話調査法	回答者への電話	調査員(他記式)	回答者への電話	調査員が回答者へ電話をかけて回答者本人であることを確認した後、調査票に従って質問を行い、回答を調査員が調査票に記入する。

アンケート調査の方法, 辻・有馬著, 朝倉書店, 1987, 55p